

長野県高等学校将来像検討委員会の県民アンケート調査実施について

高校教育課

1 目 的

平成 26 年 11 月に県立高等学校の将来像について検討するため設置した「長野県高等学校将来像検討委員会」（委員長：信州大学 山沢 清人 学長）では、高校生の多様な希望や生徒数の減少に対応した高等学校の適正な規模や配置などを検討している。

今後の長野県高等学校の望ましい将来像のあり方の検討にあたり、県民アンケートにより広く県民の皆様のご意見をお聞きし、今後の県立高等学校のあり方の検討資料としたい。

2 調査対象者

地域、性別、年齢等の別に、無作為抽出した満 20 歳以上の 2,000 名の県民

3 調査内容

別添の「調査用紙（見本）」のとおり

4 方 法

- (1) 郵送法による
- (2) 無記名回答により指定の委託業者が回収する
- (3) 調査業務委託先 有限会社エフワイエル

5 調査期間

平成 27 年 9 月 10 日（木）～10 月 10 日（土）約 1 ヶ月間
選挙により抽出作業が遅れる市町村もあるため柔軟に扱う

長野県高等学校の将来像 検討に関する県民アンケートのお願い

長野県教育委員会

1 このアンケートの目的について

県教育委員会では、平成26年11月に今後の県立高等学校の将来像について検討するため、「長野県高等学校将来像検討委員会」（委員長：信州大学 山沢 清人 学長）を設置し、高校生の多様な希望や生徒数の減少に対応した高等学校の適正な規模や配置などを検討しています。

そこで広く県民の皆様のご意見をうかがい、今後の県立高等学校のあり方の検討資料とするために、このアンケートを実施いたしますのでご協力をお願いいたします。

なお、「長野県高等学校将来像検討委員会」については <http://www.pref.nagano.lg.jp/kyoiku/koko/syoraizo/> をご参照ください。

2 アンケートをお願いする皆様

満20歳以上の長野県民の皆様から地域、性別、年齢等の別に、無作為に選ばせていただいた2,000名の方。

3 アンケートの方法

アンケート用紙は郵送のみでお送りいたします。無記名でご回答いただき、同封返信用封筒により指定の委託業者へ返送（郵送）いただくことにより実施いたします。電話等での直接の連絡や、一部分のみを提示してご回答いただくことはありませんのでご注意ください。

4 ご回答に際して

- (1) ご回答は、各ページ右端の 欄に番号をご記入いただく部分と、自由に記述いただく部分があります。
- (2) 平成27年9月1日現在でご回答ください。
- (3) ご回答いただきました内容は、このアンケートの目的以外には使用いたしません。
- (4) お手数ですが、同封の返信用封筒により 月 日必着で、ご回答後のアンケート用紙のご返送をお願いいたします。

《 このアンケートに関するお問い合わせ先 》

(委託調査機関)

TEL

長野県教育委員会事務局 高校教育課高校改革推進係 TEL: 026-235-7452
E-mail: koko@pref.nagano.lg.jp

I あなた自身のことについてお伺いします。（お名前の記入は不要です）

問1 あなたの性別を番号でご回答ください。

- ①男性 ②女性

問1回答欄

問2 あなたの年齢について、次の区分よりあてはまる番号をご回答ください。

- ①20～29歳 ②30～39歳 ③40～49歳
④50～59歳 ⑤60～69歳 ⑥70歳以上

問2回答欄

問3 あなたのお子さまについて、次の中からあてはまる番号をすべてご回答ください。

- ①未就学の子どもがいる
- ②小学生期の子どもがいる
- ③中学生期の子どもがいる
- ④高校生期の子どもがいる
- ⑤大学・短大・専門学校生等の子どもがいる
- ⑥社会人の子どもがいる
- ⑦子どもはいない

問3回答欄						
-------	--	--	--	--	--	--

問4 あなたが現在お住まいの市町村名をご記入ください。

問4回答欄	市・町・村
-------	-------

II 長野県の高校教育の現状と課題についてお伺いします。

問5 長野県の高校教育の現状を見たとき、長野県で求められている学校像として、あなたが特に重視するものを次から3つ以内で選び番号でご回答ください。「その他」の場合は、自由記述欄に具体的にご記入ください。

- ①多くの学科があり学科を越えて学習できる学校
- ②1つの学科で専門分野を深く学習する学校
- ③あらかじめ定められたカリキュラムで学ぶ学校
- ④多様な選択肢から様々な学習ができる学校
- ⑤社会に必要な職業の知識・技術を学ぶ学校
- ⑥大学への進学希望がかなう学校
- ⑦地域を学び地域で活躍する人材を養成する学校
- ⑧グローバルな内容を学び世界で活躍できる人材を育成する学校
- ⑨生徒数の多い規模の大きな学校
- ⑩生徒数の少ない規模の小さな学校
- ⑪多種の部活動があり活発に活動している学校
- ⑫校舎や施設設備の整った学校
- ⑬自分の家の近くにある学校
- ⑭自分が卒業した学校
- ⑮歴史が長く伝統のある学校
- ⑯その他（自由記述欄に具体的にご記入ください）

問5回答欄			
-------	--	--	--

問5その他（自由記述）

問6 現在の本県の高校教育で解決しなければならない課題として、

- (1) あなたが特に重視することを次から3つ以内で選び番号でご回答ください。
- (2) 課題と考える点を具体的に自由記述欄にご記入ください。

- ①進学実績の向上
- ②希望する就職の実現
- ③非行やモラルの低下
- ④教員の資質・能力の向上
- ⑤部活動の活性化
- ⑥施設設備の老朽化
- ⑦学校と地域との連携
- ⑧学校の規模や配置

問6(1)回答欄			
----------	--	--	--

問6(2) 課題と考える点を具体的にご記述ください。

「調査用紙（見本）」

問7 今後の高校教育では、高校生がどのような力を身につければ良いと考えますか。あなたが特に重視することを3つ以内で選び番号でご回答ください。「その他」の場合は自由記述欄に具体的にご記入ください。

- | | |
|----------------------------|-------------------|
| ①進学希望を達成するための知識・技能 | ②職業に関する専門的な知識・技術 |
| ③幅広い知識や一般教養（リベラルアーツ） | ④知識・技能を活用する力 |
| ⑤あいさつやマナーなど常識や礼儀 | ⑥適切な進路を選択するための職業観 |
| ⑦自律的・主体的に学び考え行動する力 | ⑧地域社会に貢献できる力 |
| ⑨相手にわかりやすく伝える力（コミュニケーション力） | ⑩変化に対応する力 |
| ⑪異文化を理解し異世代の人と協働する力 | ⑫生涯を通じて探求していく力 |
| ⑬自分の状況を他人の視点で客観的に見る力 | ⑭ひとつのことに卓越する力 |
| ⑮独創性や創造力 | ⑯課題を的確に解決する力 |
| ⑰その他（自由記述欄に具体的にご記入ください） | |

問7回答欄

問7その他（自由記述）

（参 考）文部科学省では、高校教育改革を進めるにあたり、以下のようなことが考えられています。

- 従来の高校教育では、知識・技能の習得に重きが置かれがちでしたが、現在は知識・技能を学ぶときに、社会とのつながりを意識して教育のプロセスから習得し、実社会で活用することができ、課題の発見・解決に向けて主体的・協働的に探究し、成果等を表現して実践に生かすことが求められています。
- 学力の3要素
 - ① [知識・技能] 基礎的な知識及び技能
 - ② [思考力・判断力・表現力] 知識・技能を活用して、自らの課題を発見し、その解決に向けて探究し、成果等を表現するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力
 - ③ [主体性・多様性・協働性] 主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度
- 全世界を視野に入れて生きていく3つの能力（OECDのキーコンピテンシー）
 - ①個人と社会との相互作用的な関係を活用する能力、②人間関係を形成する能力、③自律性と主体性を持ち行動する能力。深く考え行動することにより、変化に対応し、経験から学び、批判的な立場で考え行動できる。

Ⅲ 魅力ある高校づくりについてお伺いします。

問8 第1期高校再編では魅力づくりのひとつとして、以下に示すように、AからGのタイプの高校がつけられました。あなたはそれぞれのタイプの高校について、次の①から⑥のうちどのように考えますか。番号でご回答ください。「その他」の場合は自由記述欄に具体的にご記入ください。

- | | |
|-------------------------------|-----------|
| ①：今後も積極的につくったほうがよい学校だと思う。 | （必要度が高い） |
| ②：今後も必要に応じてつくってもよい学校だと思う。 | （良い） |
| ③：現在つくられている状態でちょうどよい学校だと思う。 | （普通） |
| ④：今後は積極的につくらなくてもよい学校だと思う。 | （あまり良くない） |
| ⑤：現在つくられてはいる学校だが今後はなくてもよいと思う。 | （良くない） |
| ⑥：その他（自由記述欄に具体的にご記入ください） | |

○ 多様な学びの場の提供という観点から、以下の3つのタイプの学校がつけられています。

A 総合学科高校

総合学科高校は、普通科と専門学科（農業・工業・商業・家庭科等）の科目を幅広く選択できるように、選択授業の時間をできる限り多く用意してあります。科目の選択にあたって一人ひとりキャリアガイダンスを受け、各自それぞれの時間割がつけられることから、キャリア教育を重視した学校になります。第1期高校再編では、各通学区（北信、東信、南信、中信）にそれぞれ1校以上つくることにしましたが、現在、南信地区にはありません。

中野立志館、市立長野、丸子修学館、佐久平総合技術（臼田キャンパス）、蘇南、塩尻志学館

公立6校

問8Aその他（自由記述）

問8A
回答欄

B 多部制・単位制高校

独立した校舎で、複数の時間帯（午前部・午後部・夜間部など）に授業を開講し、必要な教科・科目の単位を履修、修得する高校。生徒一人ひとりのペースに合わせた時間帯や科目を選択して各自の時間割をつくれます。第1期高校再編では、通学区（北信、東信、南信、中信）にそれぞれ1校以上つくりにしましたが、現在、北信地区にはありません。

東御清翔（午前・午後部）、箕輪進修（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ部）、松本筑摩（午前・午後・夜間部）

公立3校

問8Bその他（自由記述）

問8B
回答欄

C 中高一貫校

中学と高校を接続し、6年間の継続した教育をする学校です。県立ではモデルケースとして、東北信、中南信にそれぞれ1校ずつ、高校と併設する中学校（附属中学校）を新設し、併設型中高一貫校がつけられました。併設中学校はそれぞれ男子40人、女子40人を募集し中学校入学者選抜を実施しています。併設中学校から併設高校へ入学するときには入学者選抜がありません。また、併設高校は、他の高校と同様に高校入学者選抜により他の中学校からも生徒を募集しています。

屋代・屋代附属中学校、諏訪清陵・諏訪清陵附属中学校

公立2校

問8Cその他（自由記述）

問8C
回答欄

- 専門高校の改善・充実の観点から以下のようなタイプの学校がつけられました。

D 総合技術高校

複数の学科（農業・工業・商業科など）を併設し、学科共通の産業教育基礎科目を学習したり、学科相互の専門科目を選択したりして、汎用的・多面的な職業能力の育成を図る高校。

須坂創成、佐久平総合技術（浅間キャンパス）、飯田OIDE長姫

公立3校

問8Dその他（自由記述）

問8D
回答欄

- その他にも以下のようなタイプの学校がつけられました。

E 進学対応型単位制高校

生徒一人ひとりの大学進学に合わせて、それぞれ必要な科目を選択し、各自の時間割をつくる学校。履修する科目や単位数、修得する科目や単位数が生徒ごとに決めることができるため、理系・文系の選択、センター試験の受験科目への対応等、柔軟な時間割にすることができます。

須坂、岡谷南

公立2校

問8Eその他（自由記述）

問8E
回答欄

- 規模と配置の適正化の観点から以下のような学校がつけられました。

F オールラウンドな高校

地域の中でそれぞれに役割をもっていた高校を、少子化により1つの高校に再編統合し、地域の子どもを地域で育てられるように、地域の高校教育を担い、様々な個性や能力を伸ばせる学校がつけられています。

飯山、木曾青峰、大町岳陽（仮称）

公立3校

問8Fその他（自由記述）

問8F
回答欄

○ オールラウンドな高校をつくる際にはこれまでの枠組みにはない新たな特色学科がつけられました。

G 探究科、学究科などの新たな特色学科を設置した高校

従来の枠組みにあった理数科や国際関係学科などの普通科を基礎とした特色学科を発展させ、探究したり研究したりすることを通して主体的に考える学びを促す学習方法や学習のプロセスにより知識・技能を深めることを特長とした学科がつけられています。

飯山、大町岳陽（仮称）

公立2校

問8 G その他（自由記述）

問8 G
回答欄

問9 あなたは、今後の高校はどのような機関と連携を深めるべきだと考えますか。あなたが重点的に連携したほうがよいと考えられる機関を次のうち2つ以内で選び番号でご回答ください。「その他」の場合は自由記述欄に具体的にご記入ください。

- ①高校同士 ②大学 ③短大
- ④専門学校 ⑤小中学校 ⑥特別支援学校
- ⑦企業 ⑧NPO やボランティア団体 ⑨地元の自治体
- ⑩地域の団体 ⑪その他 ⑫不明

問9 回答欄

問9 その他（自由記述）

IV 高校の適正規模についてお伺いします。

問10 あなたは、1つの高校の1学年の生徒数はどのくらいが適当だと思いますか。次の中から1つ選び番号でご回答ください。

- ①1学年 80人（2学級規模）以下
- ②1学年 81人（3学級規模）～160人（4学級規模）
- ③1学年161人（5学級規模）～240人（6学級規模）
- ④1学年241人（7学級規模）～320人（8学級規模）
- ⑤1学年321人（9学級規模）以上

問10 回答欄

※「学級規模」は、現行の1学級の生徒数40人で割り学級数に換算した規模

（参考）現在の学校規模

第1期高校再編では、高校の適正規模について、1学年240人（6学級規模）を標準とし、1学年80人（2学級規模）から320人（8学級規模）の間で設定しています。

現在の高校は、少子化の進行により、平均して1学年200人（5学級規模）程度になっており、1学年240人を越える（7学級規模）生徒募集をする都市部の高校が24.7%ある一方で、1学年120人以下（3学級規模）の生徒募集をする高校も27.1%あります。

問 11 問 10 で高校の適当な生徒数を選んだ理由を次のうちから3つ以内で選び番号でご回答ください。「その他」の場合は自由記述欄に具体的にご記入ください。

- ①友達との関係が深まる ②多くの友達ができる ③きめ細かな教育ができる
- ④部活動が盛んになる ⑤多くの先生と出会える ⑥学校に活力がある
- ⑦先生との関係が深まる ⑧幅広い科目選択ができる ⑨切磋琢磨し成長できる
- ⑩その他（自由記述欄に具体的にご記入ください）

問 11 回答欄			
----------	--	--	--

問 11 その他（自由記述）

問 12 平成 41 年に中学校を卒業する生徒数は、昨年度中学校を卒業した生徒数の 24%が減少する（約4分の1の人数が減少する）ことが予測されています。あなたは、これからの望ましい高校の規模と配置がどうあるべきと考えますか。次のうちから1つ選び番号をご回答ください。「その他」の場合は自由記述欄に具体的にご記入ください。

- ①県内一律の基準により学校規模を考えて配置する
- ②都市部と中山間地域で基準を分けるなど地域の事情により学校規模を考慮して配置する
- ③その他（自由記述欄に具体的にご記入ください）

問 12 回答欄			
----------	--	--	--

問 12 その他（自由記述）

問 13 これまでの設問以外で、望ましい長野県高等学校教育の将来像について、お気づきのこと、お考えのことを自由に御記入ください。

問 13（自由記述）

■ 以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。

■ お手数ですが、同封の返信用封筒により 月 日必着で、ご回答後のアンケート用紙のご返送をお願いいたします。